

令和元年度第2回富士市市民協働推進審議会会議録(概要)

1. 日 時 令和元年9月26日(木) 午後2時30分～午後4時30分
2. 場 所 市役所6階第1会議室
3. 出席者 委 員 (敬称略)
今屋敷正成、工藤千麻琴、長岡路子、中山勝、日詰一幸、村瀬京子、
渡邊英樹、後藤典子
富 士 市
市民協働課長他職員3名

4. 概 要

- 協働事業提案制度及び市民活動支援補助金の審査について
令和元年度申請分について、審議会の場で審議をし、意見をまとめた。

- 事務局説明・委員意見
 - 以前に比べ市民活動支援補助金の申請件数が減ったのではないか。
→令和元年度は長期継続している事業の交付が切れる年で、それらの申請が予想されていた。しかし、事業の目的達成、自主財源による実施などの理由から継続申請が大きく減ったことも影響している(申請7件中2件のみ継続)。
 - 市民活動支援補助金制度が始まり10年以上が経過するが、制度を一度振り返り、果たしてきた役割や制度の課題をとらえ、今後の制度を考えてもいい時期かもしれない。

- 市民活動支援補助金制度について
 - 事務局としては、本補助金の交付が続く事業については、事業担当課に対し補助継続の必要性について検討するよう促す。また、事業実施及び補助金交付継続が必要である事業に対しては、本制度ではなく事業担当課による政策的補助金の交付がよいのではないかと考える。
 - 事業担当課に対しては、今後のビジョンを持ち、補助金交付の是非、補助金の種類、委託契約への変更など支援の形をどのようにしていくべきか、政策的に考えるよう促す。